



タイトル

## 吾妻二丁目4番1他の土地売却に関する 五十嵐市長から筑波都市整備(株)への要望について

項目(あてはまるものすべてにチェック)

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> イベント・会議等の事前周知依頼  | <input type="checkbox"/> イベント・会議等の取材依頼 |
| <input type="checkbox"/> イベント会議以外の事業の周知依頼 | <input type="checkbox"/> 参加者募集の告知依頼    |
| <input checked="" type="checkbox"/> その他   | )                                      |

2枚(本紙含む)

### <概要>

筑波都市整備株式会社が売却を予定している吾妻二丁目4番1他の土地について、つくば市の中心市街地にとって非常に影響の大きい区画であることから、筑波都市整備株式会社に対し、五十嵐市長から要望書を提出いたしましたのでお知らせします。

#### ●日時

平成29年5月11日(木)  
午後2時30分～3時00分

#### ●場所

筑波都市整備株式会社本社(竹園1丁目2-1)

#### ●要望先

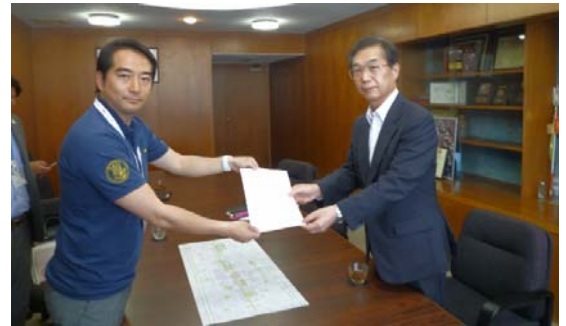
石原 孝 代表取締役社長

#### ●参加者

筑波都市整備株式会社: 石原代表取締役社長, 小松原専務取締役, 小平常務取締役  
つくば市: 市長, 都市計画部長 ほか

#### ●訪問趣旨・要望事項

筑波都市整備株式会社が売却を予定している吾妻二丁目4番1他(クレオスクエアQ't北側の北1平面駐車場部分)は、つくば駅に隣接し、市の玄関口としての役割を担うだけでなく、つくば市の中心市街地にとっては非常に影響が大きい区画に位置している。中心市街地の発展は、市域全体の魅力向上と市民の利便性の向上を図るうえで欠かせないものであり、当該地の土地利用は、つくば市の将来の都市機能を考えるうえで重要であると認識していることから、売却の際には、地域貢献の視点に立ち、売却価格を重視して判断することなく、駅前にふさわしいにぎわいを創出させるとともに、周辺環境に配慮した景観、建物形態とする事業を優先していただくよう要望した。(要望書は別紙参照)



※データ提供可

筑波都市整備株式会社

代表取締役社長 石原孝様

つくば市長 五十嵐立青

吾妻二丁目4番1他の売却に当たっての要望書

日頃から、つくば市政に多大なる御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

つくば市では、市民第一の市政による「世界の明日が見えるまち」の実現に向け市政運営に取り組んでおり、中心市街地の活性化についても、重要施策の一つとして、つくば駅前広場の再整備、駅前ビルBiviの立地等をはじめ、積極的な取り組みを進めているところです。

そのような中で1985年の開業以来、つくば市中心市街地のシンボルとして多くの市民に親しまれてきた西武筑波店が、惜しまれつつ32年の歴史に幕を閉じました。このことを受け、多くの市民からも今後の中心市街地の空洞化を懸念する声とともに、更なる発展を期待する声も上がっております。

そのような中において、貴社が売却を予定している吾妻二丁目4番の街区は、つくば駅に隣接し、市の玄関口としての役割を担うだけでなく、大規模な商業業務施設が建築可能な商業地域内であり、つくば市の中心市街地にとっては非常に影響が大きい区画に位置しています。中心市街地の発展は、市域全体の魅力向上と市民の生活利便性の向上を図るうえで欠かせないものであり、本市といたしましてはつくば駅と直結し、商業地域である当街区における土地利用は、つくば市の将来の都市機能を考えるうえで重要であると認識しております。

長年に渡ってつくば市の中心市街地におけるまちづくりに尽力され、多くの商業施設等を保有し、様々な事業を展開されている貴社におかれましては、今回予定している用地売却の際には、地域貢献の視点に立ち、売却価格を重視して判断することなく、商業業務施設など、駅前にふさわしいにぎわいを創出させるとともに、周辺環境に配慮した景観、建物形態とする事業を優先していただくよう、強く要望いたします。